

# 無線通信研究委員会

## SG6 会合

(ジュネーブ、オンライン参加可)

## 報告書

2024 年 11 月 15 日

## 目次

|          |                                    |          |
|----------|------------------------------------|----------|
| <b>1</b> | <b>概要</b> .....                    | <b>3</b> |
| 1.1      | 会議の構成 .....                        | 3        |
| 1.2      | 主要結論 .....                         | 3        |
| 1.3      | SG6 関連会合会期中に開催されたイベント .....        | 5        |
| 1.4      | 次回会合予定 .....                       | 6        |
| <b>2</b> | <b>会合内容</b> .....                  | <b>7</b> |
| 2.1      | 開会挨拶 .....                         | 7        |
| 2.2      | アジェンダの承認 .....                     | 7        |
| 2.3      | 参加者向け情報 .....                      | 7        |
| 2.4      | 前回 SG6 会合サマリーレコード .....            | 7        |
| 2.5      | SG6 の責任下にある文書のステータスと RAG の結果 ..... | 7        |
| 2.6      | 2024 年 11 月会合中に開催されたイベントの報告 .....  | 8        |
| 2.7      | 各 WP 及び RG からの入力文書の審議 .....        | 8        |
| 2.7.1    | WP6A .....                         | 8        |
| 2.7.2    | WP6B .....                         | 10       |
| 2.7.3    | WP6C .....                         | 12       |
| 2.7.4    | 放送の将来に関するラポーターグループ (RG-FOB) .....  | 13       |
| 2.8      | その他の文書 .....                       | 14       |
| 2.8.1    | 第 2 世代 DTTB システムへの移行 .....         | 14       |
| 2.8.2    | デジタル音声放送への移行 .....                 | 15       |
| 2.8.3    | セクター間ラポーターグループ .....               | 15       |
| 2.8.4    | ITU-T からのリエゾン文書 .....              | 15       |
| 2.9      | CCV/SCV .....                      | 16       |
| 2.10     | 事務連絡事項 .....                       | 17       |
| 表 1      | 日本代表团 (11 名) .....                 | 18       |
| 表 2      | 入力文書 (44 件) .....                  | 19       |

## 1 概要

国際電気通信連合無線通信部門（ITU-R）第6研究委員会（SG6：放送業務）の会合が下記のとおり開催された。

開催日： 2024年11月15日（金）（1日間）  
開催地： ITU本部（スイス・ジュネーブ、オンライン参加可）  
議長： Thiago SOARES（ブラジル）  
参加者： 37カ国・地域、17組織から合計149名（名簿登録者）  
日本から11名（表1参照）  
入力文書： 44件（表2参照）

### 1.1 会議の構成

SG6には以下の3つの作業部会（WP）が設置されている。

|      |                 |                        |
|------|-----------------|------------------------|
| WP6A | 地上放送            | 議長代行：Amir NAFEZ（イラン）   |
| WP6B | 放送サービスの構成及びアクセス | 議長代行：Paul GARDINER（英国） |
| WP6C | 番組制作及び品質評価      | 議長代行：Andy QUESTED（EBU） |

前回のSG6会合で承認に至らず議長代行（Acting Chair）となっていた各WP議長は、今回のSG6会合において正式にWP議長に任命された。

### 1.2 主要結論

| 文書種別         | 件数   |      |      |        |    | 審議結果  |
|--------------|------|------|------|--------|----|---|
|              | WP6A | WP6B | WP6C | RG-FOB | 合計 |   |
| 新研究課題案       | —    | —    | 1    | —      | 1  | 採択  |
| 研究課題廃止案      | —    | —    | 2    | —      | 2  | 採択  |
| 新勧告案         | —    | 1    | 2    | —      | 3  | 採択2件 <sup>(1)</sup><br>PSAA1件                     |
| 勧告改訂案        | 2    | 2    | 4    | —      | 8  | 採択4件 <sup>(1)</sup><br>PSAA3件<br>二段階採択・承認<br>手続1件 |
| 新レポート案       | 2    | —    | —    | —      | 2  | 承認  |
| レポート改訂案      | 3    | 2    | 3    | 1      | 9  | 承認  |
| ラポータグループ継続提案 | —    | —    | —    | 1      | 1  | 承認  |

(1) 前回会合から持ち越された新勧告案及び勧告改訂案は、決議ITU-R 1-9 §A2.6.2.2.2に従い、SGで採択され、承認手続きに付された。

#### (1) 新研究課題案（1件）

- 研究課題ITU-R [ADVSS]/6「放送用音響システムの進化」（6/66、WP6C）

## (2) 研究課題廃止案 (2 件)

- ・ 研究課題 ITU-R 135-2/6 「映像有・無のデジタル音響システムのシステムパラメータと運用」(6/66、WP6C)
- ・ 研究課題 ITU-R 139-2/6 「先進的音響フォーマットのレンダリング方法」(6/66、WP6C)

## (3) 新勧告案 (3 件)

### a. 採択

- ・ 勧告 ITU-R BT.[CARE] 「テレビジョンディスプレイのエネルギー消費削減のためのコンテンツ適応方法の枠組み」(6/19、WP6C)
- ・ 勧告 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION] 「先進的音響システムの放送送出のための ADM と S-ADM のプロファイル」(6/35、WP6B)

### b. PSAA

- ・ 勧告 ITU-R BT.[MON] 「シングルマスターHDR 制作環境において HDR と SDR が近接するモニタリングの観視条件」(6/63、WP6C)

## (4) 勧告改訂案 (8 件)

### a. 採択

- ・ 勧告 ITU-R BT.1666-0 「劇場環境における提示を意図したテレビジョンアプリケーションのユーザ要求条件」(6/23、WP6C)
- ・ 勧告 ITU-R BT.1662-0 「テレビジョンアプリケーションにおける一般的なりファレンスチェーンと番組エッセンスのポスト処理ヘッドルームの管理」(6/24、WP6C)
- ・ 勧告 ITU-R BS.2076-2 「音響定義モデル」(6/36、WP6B)
- ・ 勧告 ITU-R BS.2094-1 「音響定義モデルのための共通定義」(6/37、WP6B)

### b. PSSA

- ・ 勧告 ITU-R BT.2123-0 「放送における番組制作と国際交換のための AIAV システムの映像パラメータ値」(6/62、WP6C)
- ・ 勧告 ITU-R BT.2100-2 「制作及び国際番組交換で使用する HDR-TV の映像パラメータ値」(6/64、WP6C)
- ・ 勧告 ITU-R BT.2016-3 「VHF/UHF 帯における携帯受信機による移動受信のための地上マルチメディア放送の誤り訂正、データフレーミング、変調方式、電波発射方式」(6/72、WP6A)

### c. 二段階採択・承認手続き

- ・ 勧告 ITU-R BT.1774-2 「公衆警報、減災、救援のための衛星・地上放送インフラの利用」(6/74、WP6A)

#### (5) 新レポート案 (2 件)

- ・ レポート ITU-R BT.[COMPAT TMMB-L] 「GE06 協定内の 470-694MHz 帯における TMMB System-L と DTTB システム間の両立性」 (6/69、WP6A)
- ・ レポート ITU-R BT.[ITCN] 「地上放送及びデータキャストシステムとの送信所間通信システム」 (6/71、WP6A)

#### (6) レポート改訂案 (9 件)

- ・ レポート ITU-R BS.2388-4 「音響定義モデルとマルチチャンネル音声ファイルの利用ガイドライン」 (6/76、WP6B)
- ・ レポート ITU-R BT.2408-7 「HDR-TV 制作の推奨運用指針」 (6/65、WP6C)
- ・ レポート ITU-R BT.2420-6 「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」 (6/61、WP6C)
- ・ レポート ITU-R BT.2468-1 「第 2 世代 DTTB システムのシステムパラメータの選択と実装のためのガイダンス」 (6/73、WP6A)
- ・ レポート ITU-R BT.2485-2 「デジタル地上テレビジョン放送の拡張のための高度なネットワークプランニング及び伝送方法」 (6/68、WP6A)
- ・ レポート ITU-R BS.2493-0 「ITU の先進的音響システムのための音声コーデックを用いる放送システムの実装」 (6/77、WP6B)
- ・ レポート ITU-R BT.2521-0 「放送のエネルギー効率を達成するための実践例」 (6/60 Rev.1、WP6C)
- ・ レポート ITU-R BS/BT.2522-0 「将来の放送の枠組み」 (6/59 Attachment 1、RG-FOB)
- ・ レポート ITU-R BT.2526-0 「地上マルチメディアモバイル放送システムの野外実験」 (6/70、WP6A)

#### (7) ラポータグループ継続提案

- ・ 「将来の放送に関する文書を作成するための SG6 ラポータグループ RG-FOB の継続」 (6/59 Attachment 2、RG-FOB)

### 1.3 SG6 関連会合会期中に開催されたイベント

今回の SG6 関連会合の会期中、以下のイベントが開催された。

- ・ ワークショップ「欧州におけるテレビの将来」<sup>1</sup>
- ・ 将来の放送に関するデモ展示<sup>2</sup>

<sup>1</sup> ITU Workshop on the Future of Television for Europe  
(<https://www.itu.int/en/ITU-R/seminars/Future-of-tv-europe/Pages/default.aspx>)

<sup>2</sup> Demonstrations on Future of Broadcasting  
([https://www.itu.int/dms\\_pub/itu-r/oth/0a/07/R0A070000470001PDFE.pdf](https://www.itu.int/dms_pub/itu-r/oth/0a/07/R0A070000470001PDFE.pdf))

#### 1.4 次回会合予定

2025年のSG6会合予定が以下の通り周知された。(6/ADM/7)

2025年第1回（開催地：ジュネーブ）

|       |          |
|-------|----------|
| WP 6A | 3月5～12日  |
| WP 6B | 3月10～13日 |
| WP 6C | 3月3～7日   |
| SG 6  | 3月14日    |

2025年第2回（開催地：ジュネーブ<sup>3</sup>）

|       |         |
|-------|---------|
| WP 6A | 9月2～10日 |
| WP 6B | 9月8～11日 |
| WP 6C | 9月1日～5日 |
| SG 6  | 9月12日   |

---

<sup>3</sup> ジュネーブ以外での開催の可能性あり。この場合、日程調整の可能性もあり。

## 2 会合内容

### 2.1 開会挨拶

SG6 議長の Thiago Soares(ブラジル)が開会を宣言し、参加者に歓迎の言葉を述べた。

フランス語通訳が聞こえないとの発言があったが、カウンセラ(Ruoting Chang)は、本研究会期では特に申し出がない限り英語のみとなっており、事前に申し出があったロシア語に限り同時通訳が提供されていることを説明した。

### 2.2 アジェンダの承認

会合のアジェンダ案(6/ADM/8)

#### 承認

### 2.3 参加者向け情報

カウンセラが、参加者向けの情報文書(6/INFO/3)に沿って注意事項などを説明した。

### 2.4 前回 SG6 会合サマリーレコード

SG6 議長が、2024 年 3 月に開催された SG6 会合のサマリーレコード(6/42)を紹介した。同文書は 2024 年 4 月以来ウェブサイトで公開されており、これまでに特に意見は寄せられていないことが説明された。

#### Noted

### 2.5 SG6 の責任下にある文書の状況と RAG の結果

- 6/1 Rev.1:SG6 傘下の WP への文書(研究課題、ITU-R 勧告、ITU-R レポート、ハンドブック、ITU-R 決議、及び WRC 決議/勧告等)の割当をまとめた文書の改訂版  
前回会合の結果を反映した版であることが説明された。

バチカンは、SG6 の担当である 3 件の HF 放送に関する WRC 勧告(勧告 503, 520, 522)を Attachment 10(Other WRC Resolutions and Recommendations calling for studies related to the work of Study Group 6)に追加すべきであると述べた。日本は、これらが短波放送と関連することは確かであるが、SG6 での研究を要請する内容ではないことから、Attachment 10 に追加すべきではなく、新たな Attachment を作成すべきであると述べた。議長は、別の Attachment 11 を作成する方針を示した。

- CA/273:第 31 回無線アドバイザリグループ(RAG)の結果要旨

カウンセラが、2024 年 3 月に開催された第 31 回 RAG 会合の結果要旨から、特に SG6 に関連した箇所(RA で改訂された決議 1-9 によるワーキングメソッドの変更箇所や、次回 RAG から SG 議長には 10 分程度のプレゼンテーションの時間が与えられることなど)について報告した。

#### Noted

## 2.6 2024年11月会合中に開催されたイベントの報告

- ・ ワークショップ「欧州におけるテレビの将来」(11月7日開催)<sup>4</sup>

Elena Puigrefagut (EBU) は、本ワークショップは番組制作から放送、視聴に至るまで放送のあらゆる段階の変化について議論することをコンセプトとし、ITU が開催してきた「テレビの将来に関するワークショップ」シリーズの一環として ITU の他セクター及び ITU-R SG6 との連携によって実現したものであることを説明した。

- ・ 将来の放送に関するデモ展示<sup>5</sup>

Andy Quested (EBU) は、14 件のデモ展示が実施されたこと、前回は前研究会期の最後となる 2023 年 3 月に開催されたが、当時から大きな変化が見られたことを報告した。

これらの報告に対し、イランは、内容が欧州の事業者の関心に偏っているが、より広いグローバルなスコープを持つイベントを開催すべきであるとの意見を述べた。これに対して Quested は、このイベントは開催地に合わせた内容で世界各地で開催されているものであることを説明した。イランは、次回の RAG においてはこのイベントについて報告するとともに全世界的な将来に目を向ける必要性を報告すべきであると述べ、SG6 議長は了承した。

## 2.7 各 WP 及び RG からの入力文書の審議

### 2.7.1 WP6A

WP6A 議長代行が、WP6A が提出した文書を説明した。

#### 2.7.1.1 会合報告 (Executive Report)

- 6/75: WP6A 議長代行の会合報告

イランは、全ての WP は、地域バランス、男女バランス等を考慮し、議長等の分配原則に従って、副議長を任命すべきであり、また WP 副議長は通常 2 名、最大 3 名の原則に従うべきで、WP6A の 5 名は過去になく多すぎるとの見解を述べた。SG6 議長は、過去にも WP6A には 5 名以上の副議長がいたことがあるが、イランからの提案を考慮し、次回以降検討したいと述べた。

#### **Noted**

#### 2.7.1.2 勧告改訂案

- 6/72 : 勧告 ITU-R BT.2016-3 改訂案「VHF/UHF 帯における携帯受信機による移動受信のための地上マルチメディア放送の誤り訂正、データフレーミング、変調方式、電波発射方式」

<sup>4</sup> ITU Workshop on the Future of Television for Europe  
(<https://www.itu.int/en/ITU-R/seminars/Future-of-tv-europe/Pages/default.aspx>)

<sup>5</sup> Demonstrations on Future of Broadcasting  
([https://www.itu.int/dms\\_pub/itu-r/oth/0a/07/R0A070000470001PDFE.pdf](https://www.itu.int/dms_pub/itu-r/oth/0a/07/R0A070000470001PDFE.pdf))



付録のみの改訂提案で *recommends* 部が示されていなかったが、イランは、*recommends* 部に意見があると述べ、現行の勧告 ITU-R BT.2016-3 を確認した上で、*recommends* の一部を修正した。

### 同時採択承認手続き(PSAA)

- 6/74 : 勧告 ITU-R BT.1774-2 改訂案「公衆警報、減災、救援のための衛星・地上放送インフラの利用」

イランは、本勧告は BO シリーズとしても発行されていることから、今回 SG6 での採択を見送り、SG4 の関連する WP にリエゾン文書を送付し合意を取るべきであると主張した。これに対し、WP6A 議長代行らからこれまでの経緯について以下が説明された。

- 本勧告は WP6A と WP4B の共同責任であるが、今回の改訂は地上放送に関する箇所のみであり、前回会合で WP6A から WP4B に改訂草案を添付したリエゾン文書を送付して確認を求めた。
- WP4B からの返答は、衛星放送に関する勧告を知らせて内容を適宜追加することを求めるものであったが、これは WP6A の専門範囲外であり、具体的な修正案はなかったことから、WP6A は衛星関連の箇所には修正を行わなかった。
- WP4B に対して、本文書を勧告改訂案として SG6 に上程すること、衛星関連の情報は WP6A の所掌範囲外であるため追記しておらず、必要に応じて WP4B で別途改訂することを促すリエゾン文書を作成した（本勧告の SG での採択合意を受けて発出するため待機中）。

SG6 議長及び WP6A 議長代行は、以上のとおりすべての手続きは適切に終了していると述べた。

イランは、本勧告案の承認には消極的であるとしながら、妥協案として本文に地上放送に関する改訂のみが行われたことを示す注釈をつけるべきであると主張したため、*recommends* 部に続けて「本改訂は地上放送に関する内容だけである」との注記を追記した。また、日本からの指摘により、勧告タイトルにつけられていた脚注（SG4 によるエディトリアル修正）を削除した。

イランは、PSAA ではなく通常の採択・承認手続きとすべきであると主張したため、PSAA ではなく二段階採択・承認手続きに付すこととした。

イランは、新勧告案や勧告改訂案の審議において、Preamble 部と Operative 部については詳細に検討する必要があること、一方、付録 (Annex) については会議が合意すれば一括で承認してもよい旨を SG6 会合のサマリーレコードに含めることを要望した。

### 二段階採択・承認手続き

#### 2.7.1.3 新レポート案

- 6/69 : 新レポート案 ITU-R BT.[COMPAT TMMB-L]「GE06 協定内の 470-694MHz 帯における TMMB System-L と DTTB システム間の両立性」

## 承認

- 6/71：新レポート案 ITU-R BT.[ITCN]「地上放送及びデータキャストシステムシステムの送信所間通信システム」

カバーページの“Summary”部の最初の2つのパラグラフを“Scope”として本文に追記し、パラグラフの連番を修正した。

## 承認

### 2.7.1.4 レポート改訂案

- 6/68：レポート ITU-R BT.2485-2 改訂案「デジタル地上テレビジョン放送の拡張のための高度なネットワークプランニング及び伝送方法」

## 承認

- 6/70：レポート ITU-R BT.2526-0 改訂案「地上マルチメディアモバイル放送システムの野外実験」

日本は、Annex 12にあるFull-HD(FHD)との記述は誤りであるのでHDに修正するよう指摘した。これに対し、ブラジルがSWGでの議論を説明し、720pはFull-HDではないことからHDに修正した。

## 承認

FHDの定義について、WP6C議長代行は、ITU用語データベースによるとITU-Tでは誤った定義がされていることを指摘した。イランは、時としてITU-TとITU-Rで異なる定義が使用されていることがあり、調整する必要があると述べた。

- 6/73：レポート ITU-R BT.2468-1 改訂案「第2世代 DTTB システムのシステムパラメータの選択と実装のためのガイダンス」

## 承認

### 2.7.2 WP6B

WP6B議長代行が、WP6Bが提出した文書を説明した。新勧告案及び勧告改訂案の3件は前回SG6会合で審議が延期された入力文書である。

#### 2.7.2.1 会合報告 (Executive Report)

- 6/78:WP6B議長代行の会合報告

## Noted

#### 2.7.2.2 新勧告案

- 6/35：新勧告案 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION]「先進的音響システムの放送送出のためのADMとS-ADMのプロファイル」

前回 SG6 会合で審議を延期した新勧告案であり、今回 SG6 会合での採択が提案された。

タイトルを「Audio definition model and serial representation of audio definition model profile for advanced sound systems emission」と変更し、*recommends* 部に含まれていた略語の AdvSS を advanced sound systems と書き下す修正を行った。

### 採択

#### 2.7.2.3 勧告改訂案

- 6/36 : 勧告 ITU-R BS.2076-2 改訂案「音響定義モデル」

前回 SG6 会合で審議を延期した勧告改訂案であり、今回 SG6 会合での採択が提案された。

*recommends* 部が“should be used”や“should be considered”といった標準的な表現になっていないことが指摘され、該当する箇所を修正するとともに、軽微な修正を行った。

### 採択

- 6/37 : 勧告 ITU-R BS.2094-1 改訂案「音響定義モデルのための共通定義」

前回 SG6 会合で審議を延期した勧告改訂案であり、今回 SG6 会合での採択が提案された。

### 採択

#### 2.7.2.4 レポート改訂案

- 6/76 : レポート ITU-R BS.2388-4 改訂案「音響定義モデルとマルチチャンネル音声ファイルの利用ガイドライン」

前回 SG6 会合において承認された同レポート改訂案(6/34)は、審議が延期された新勧告案 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION]を参照しているために未発行であった。この改訂案は、承認済みの改訂内容に修正を追加する提案である。

新勧告案 ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION]の審議においてタイトルを変更したことを受け、文中で参照されている同新勧告案のタイトルを修正した。

### 承認

- 6/77 : レポート ITU-R BS.2493-0 改訂案「ITU の先進的音響システムのための音声コーデックを用いる放送システムの実装」

### 承認

### 2.7.3 WP6C

WP6C 議長代行が、WP6C が提出した文書を説明した。新勧告案のうち 1 件と勧告改訂案のうち 2 件は前回 SG6 会合で審議が延期された入力文書である。

#### 2.7.3.1 会合報告 (Executive Report)

- 6/67: WP6C 議長代行の会合報告

##### Noted

#### 2.7.3.2 研究課題

- 6/66: 新研究課題案 ITU-R [ADVSS]/6 「放送用音響システムの進化」、研究課題 ITU-R 135-2/6 「映像有・無のデジタル音響システムのシステムパラメータと運用」及び研究課題 ITU-R 139-2/6 「先進的音響フォーマットのレンダリング方法」の廃止案

##### 採択

#### 2.7.3.3 新勧告案

- 6/19: 新勧告案 ITU-R BT.[CARE] 「テレビジョンディスプレイのエネルギー消費削減のためのコンテンツ適応方法の枠組み」

前回 SG6 会合で審議を延期した新勧告案であり、今回 SG6 会合での採択が提案された。

参照されていたレポート ITU-R BT.[ETRIP]を正式な番号である BT.2540 に修正した。

##### 採択

- 6/63: 新勧告案 ITU-R BT.[MON] 「シングルマスターHDR 制作環境において HDR と SDR が近接するモニタリングの観視条件」

##### 同時採択承認手続き (PSAA)

#### 2.7.3.4 勧告改訂案

- 6/23: 勧告 ITU-R BT.1666 改訂案 「劇場環境における提示を意図したテレビジョンアプリケーションのユーザ要求条件」

前回 SG6 会合で審議を延期した新勧告案である。

##### 採択

- 6/24: 勧告 ITU-R BT.1662 改訂案 「テレビジョンアプリケーションにおける一般的なリファレンスチェーンと番組エッセンスのポスト処理ヘッドルームの管理」

前回 SG6 会合で審議を延期した新勧告案である。

##### 採択

- 6/62 : 勧告 ITU-R BT.2123-0 改訂案「放送における番組制作と国際交換のための AIAV システムの映像パラメータ値」

#### 同時採択承認手続き (PSAA)

- 6/64 : 勧告 ITU-R BT.2100-2 改訂案「制作及び国際番組交換で使用する HDR-TV の映像パラメータ値」

#### 同時採択承認手続き (PSAA)

### 2.7.3.5 レポート改訂案

- 6/60 : レポート ITU-R BT.2521-0 改訂案「放送のエネルギー効率を達成するための実践例」

以下の修正を加えた。

- ・ タイトルの「エネルギーに配慮した放送 (energy aware broadcasting)」を「放送のエネルギー効率 (energy efficiency of broadcasting)」に、「実現 (realize)」を「達成 (achieve)」にそれぞれ変更。
- ・ Energy Aware Broadcasting に関する Webinar の概要を含むとの脚注を削除。
- ・ Summary とされていたセクションを Objectives (目的) に変更し、レポートと直接の関係がないとみられる前半部分を削除し、レポートの目的を明示する。

#### 承認

- 6/61 : レポート ITU-R BT.2420-6 改訂案「先進的没入・体感メディアシステムのユースケース集」

#### 承認

- 6/65 レポート ITU-R BT.2408-7 改訂案「高ダイナミックレンジ(HDR)テレビジョン制作の推奨運用指針」

イランは、非常に多くの修正部分があって確認するのが困難であるため、今回の承認は見送り、次回 SG6 にて承認することが望ましいと主張した。しかし、WP6C 議長代行は、この改訂は緊急姓が高く、更なる改訂がすでに WP6C にて検討されていると説明した。イランの提案により、タイトルの先頭に” Suggested (推奨)” が付された。

#### 承認

## 2.7.4 放送の将来に関するラポータグループ (RG-FOB)

### 2.7.4.1 ラポータグループの活動報告

- 6/57: RG-FOB の活動報告

2024年3月から10月までに12回開催されたRG-FOBオンライン会合による進捗報告である。

### **Noted**

#### **2.7.4.2 WP 合同会合の報告**

- 6/59:WP 合同会合(2024年11月6日開催)の報告

RG-FOBの進捗報告(6/57)及びITU-T SG16からの返答リエゾン文書(6/48)を審議するために開催されたWP6A、6B、6Cの合同会合についての報告である。この会合の結果、RG-FOBにて検討されていたレポートITU-R BS/BT.2522改訂草案を改訂案に格上げし、SG6の承認を求めることに合意したこと、他セクターに対する更なるリエゾン文書の発出は不要と判断されたことが報告された。

### **Noted**

#### **2.7.4.3 ラポーターグループの継続**

- Att. 2 of 6/57:RG-ToRの修正案

付託事項の1つ目のレポートITU-R BS/BT.2522改訂草案のレビューは終了したが、2つ目の「放送の将来に関するテキストの作成を継続するため、SG6傘下の各WPへの入力につながるような将来的な研究分野について議論・検討すること」については今後も継続する必要があるため、ToRを修正してラポーターグループの活動継続が提案された。

イランは、タイトルに“vision”という単語が含まれることについて、現在レポートであるものを一段進めて勧告にした際にvisionを推奨することはできないとの考えから修正を求めた。ラポーターグループ共同議長は、レポートのタイトルは既に“vision”ではなく“framework”と修正されており、RGの名称まで修正する必要性はないとの見解を示したが、最終的に“A vision for”を削除し、RGの名称を「『将来の放送』に関する文書を作成するためのSG6ラポーターグループ」に修正し、活動を継続することとした。

### **承認**

#### **2.7.4.4 レポート改訂案**

- Att. 1 of 6/57: レポートITU-R BS/BT.2522-0改訂案「将来の放送の枠組み」

### **承認**

## **2.8 その他の文書**

### **2.8.1 第2世代 DTTB システムへの移行**

- 6/54 (ブラジル): ブラジルの次世代デジタル地上テレビジョン (情報文書)

### **Noted**

- 6/55 (フランス): フランスにおける最近のデジタル地上テレビ放送の進展 (情報文書)

### **Noted**

## 2.8.2 デジタル音声放送への移行

- 6/58 (ガーナ) : デジタル音声放送への移行に関するガーナのケーススタディ

**Noted**

## 2.8.3 セクター間ラポータグループ

### 2.8.3.1 IRG-AVA (Audio Visual media Accessibility)

ITU-R SG6、ITU-T SG 9 及び 16 から構成されていた音声・映像メディアのアクセシビリティに関するセクター間ラポータグループ (IRG-AVA) の共同議長から、11 月 14 日に開催された IRG 会合の結果が口頭で報告された。ITU-T では SG9 と SG16 が統合されて新たな SG 21 が設立されることになったため、これに合わせて本 IRG の ToR も修正する必要がある、関与する SG の数が減ったことから、これまで各 SG から 1 名ずつの計 3 名体制だった共同議長は R 側から 1 名、T 側から 1 名の計 2 名とすることが提案されているとのことである。現在、ToR の案を T 側の共同議長が作成していることから、完成次第リエゾン文書として SG6 に送付されるよう依頼したことも報告された。次回の SG6 で ToR 改訂案を審議する予定である。

**Noted**

### 2.8.3.2 IRG-AVQA (Audio Visual Quality Assessment)

- 6/56 : IRG-AVQA のオンライン会合に関する報告

**Noted**

## 2.8.4 ITU-T からのリエゾン文書

ITU-T からの以下のリエゾン文書については、既にいずれかの WP か RG-FOB で審議済みであることから、一括で了知した。

- 6/49 (ITU-T SG9) : Liaison statement on AAP consent of draft new Recommendation ITU-T J.153 - System architecture for cable television services to use IMT-2020 radio systems

(新勧告案 ITU-T J.153「IMT-2020 無線システムを使用するケーブルテレビサービスのシステムアーキテクチャ」の AAP 同意に関するリエゾン文書)

**Noted**

- 6/53 (ITU-T SG 9) : Liaison statement on initiation of the new work item on the draft ITU-T Technical Report TR.atsc-imatv "ATSC 3.0 and 1.0 Integrated-MATV System over Digital Terrestrial Television Broadcasting"

(ITU-T 技術レポート TR.atsc-imatv "ATSC 3.0 and 1.0 Integrated-MATV System over Digital Terrestrial Television Broadcasting "草案に関する新しい作業項目の開始に関するリエゾン文書)

**Noted**

- 6/52 (ITU-T SG 15) : Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan  
(新たなバージョンのホームネットワークトランスポート(HNT)標準の概要と作業計画に関するリエゾン文書)

**Noted**

- 6/48 (ITU-T SG 16) : Reply liaison statement on new ITU-R Report introducing a framework for the future of broadcasting  
(将来の放送の枠組みを紹介する新 ITU-R レポートに関する返答リエゾン文書)※ WP 合同会議で審議済み

**Noted**

- 6/43 (Focus Group on Metaverse: FG-MV) : Liaison statement on Vocabulary for metaverse  
(メタバースに関する語彙)

**Noted**

- 6/44 (FG-MV) : Liaison statement on results of the fifth meeting of the FG-MV  
(第 5 回 FG-MV 会合結果)

**Noted**

- 6/45 (FG-MV) : Liaison statement on definition of CitiVerse  
(CitiVerse の定義)

**Noted**

- 6/47 (FG-MV) : Liaison statement on results of the sixth meeting of the FG-MV  
(第 6 回 FG-MV 会合結果)

**Noted**

- 6/50 (FG-MV) : Liaison statement on glossary for metaverse  
(メタバースの用語集)]

**Noted**

- 6/51 (FG-MV) : Liaison statement on results of the seventh and final meeting of the FG-MV  
(第 7 回(最終回)FG-MV 会合結果)

**Noted**

## 2.9 CCV/SCV

- 6/46 (CCV 議長) : Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)  
(ITU-R SG 及び WP へのリエゾン文書)

**Noted**



## 2.10 事務連絡事項

各 WP の議長代行(Acting-Chair)を正式に議長(Chair)に任命した。

イランから、以下の 2 点について改めて発言があった。

- ① WP 議長・副議長の任命は、地域、男女、年代等を考慮の上、公平に分配し、偏りのないようにすべきであり、同じ WP で同じ国から 2 名以上が役職を持つことは避けるべきである。
- ② WP の副議長が SG や他の WP の副議長を兼務すべきではない。

## 2.11 SG6 運営委員会

SG6 議長が、SG6 運営委員会で SG6 副議長それぞれの担務を示す文書を作成中であることを報告した。

## 2.12 次回会合日程

次回 SG6 ブロック会合は、2025 年 3 月 5 日－14 日に開催される。

以上

表1 日本代表団（11名）

| 氏名     | 所属  |
|--------|---|
| 佐伯 吉章  | 総務省 情報流通行政局 放送技術課                                   |
| 薮 拓也   | 日本放送協会 技術局 計画部                                      |
| 末長 康孝  | 日本放送協会 技術局 計画部                                      |
| 西田 幸博  | 日本放送協会 放送技術研究所                                      |
| 大出 訓史  | 日本放送協会 放送技術研究所 テレビ方式研究部                             |
| 當山 俊一郎 | （一社）日本民間放送連盟<br>日本テレビ放送網株式会社 技術統括局 回線運用部            |
| 近藤 佑輔  | （一社）日本民間放送連盟<br>株式会社テレビ朝日 技術局設備センター コンテンツ制作システムグループ |
| 飯田 智之  | （一社）日本民間放送連盟<br>株式会社フジテレビジョン 技術局 技術戦略部              |
| 片山 麻衣子 | ワシントンコア L.L.C.                                      |
| 小池 貞利  | ワシントンコア L.L.C.                                      |
| 地引 史子  | ワシントンコア L.L.C.                                      |

表 2 入力文書 (44 件)

| 入力文書<br>(6/) | 提出元         | 題 名  | 結果               |
|--------------|-------------|--|------------------|
| 19           | WP 6C       | Draft new Recommendation ITU-R BT.[CARE] - A framework for content-adaptive methods for reduction of energy consumption in television displays   | 修正、採択<br>(承認手続へ) |
| 23           | WP 6C       | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1666 - User requirements for large screen digital imagery applications intended for presentation in a theatrical environment                 | 採択<br>(承認手続へ)    |
| 24           | WP 6C       | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1662 - General reference chain and management of post-processing headroom for programme essence in large screen digital imagery applications | 採択<br>(承認手続へ)    |
| 35           | WP 6B       | Draft new Recommendation ITU-R BS.[ADM-NGA-EMISSION] - Advanced sound system: ADM and S-ADM profile for emission   | 修正、採択<br>(承認手続へ) |
| 36           | WP 6B       | Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2076-2 -Audio Definition Model   | 修正、採択<br>(承認手続へ) |
| 37           | WP 6B       | Draft revision of Recommendation ITU-R BS.2094-1 - Common definitions for the Audio Definition Model   | 採択<br>(承認手続へ)    |
| 42           | Chair, SG 6 | Summary record of the first meeting of Radiocommunication Study Group 6 (Geneva, 15 March 2024)  | Noted            |
| 43           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on Vocabulary for metaverse  | Noted            |
| 44           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on results of the fifth meeting of the FG-MV   | Noted            |
| 45           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on definition of CitiVerse   | Noted            |
| 46           | Chair, CCV  | Liaison statement to Radiocommunication Study Groups and Working Parties (copy for information to ITU-T and ITU-D Study Groups)  | Noted            |
| 47           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on results of the sixth meeting of the FG-MV   | Noted            |
| 48           | ITU-T SG16  | Reply liaison statement on new ITU-R Report introducing a framework for the future of broadcasting   | Noted            |
| 49           | ITU-T SG9   | Liaison statement on AAP consent of draft new Recommendation ITU-T J.153 – System architecture for cable television services to use IMT-2020 radio systems                             | Noted            |
| 50           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on glossary for metaverse  | Noted            |
| 51           | ITU-T FG-MV | Liaison statement on results of the seventh and final meeting of the FG-MV   | Noted            |
| 52           | ITU-T SG15  | Liaison statement on the new version of the home network transport (HNT) standards overview and work plan  | Noted            |

| 入力文書<br>(6/) | 提出元   | 題 名   | 結果    |
|--------------|---|---|-------|
| 53           | ITU-T SG9   | Liaison statement on initiation of the new work item on the draft ITU-T Technical Report TR.atsc-imatv "ATSC 3.0 and 1.0 Integrated-MATV System over Digital Terrestrial Television Broadcasting"             | Noted |
| 54           | Brazil  | Brazilian next-generation Digital Terrestrial Television (Information document)   | Noted |
| 55           | France  | Recent advances of digital terrestrial television broadcasting in France: a one year update (Information document)  | Noted |
| 56           | Co-Chairs,<br>IRG-AVQA                            | IRG-AVQA meeting Report (online)  | Noted |
| 57           |   | Rapporteur Group – Future of Broadcasting Progress Report – March - October 2024  | Noted |
| 57 Att.1     | RG-FOB  | Proposed draft revision of Report ITU-R BS/BT.2522  | 承認    |
| 57 Att.2     |   | Continuation of the Rapporteur Group RG-FOB to develop further text on "A vision for the future of broadcasting"  | 修正、承認 |
| 58           | Ghana   | Case study on the transition to digital sound broadcasting in Ghana   | Noted |
| 59           | Co-chairs,<br>JWP on Future<br>of<br>Broadcasting | Report from joint Working Parties meetings on the Future of Broadcasting held during the November 2024 block meetings   | Noted |
| 60 Rev.1     | WP 6C   | Draft revision of Report ITU-R BT.2521-0 – Practical examples of actions to realize energy aware broadcasting   | 修正、承認 |
| 61           | WP 6C   | Draft revision of Report ITU-R BT.2420-6 – Collection of usage scenarios of advanced immersive sensory media systems  | 承認    |
| 62           | WP 6C   | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2123-0 – Video parameter values for advanced immersive audio-visual systems for production and international programme exchange in broadcasting                     | PSAA  |
| 63           | WP 6C   | Draft new Recommendation ITU-R BT.[MON] – Viewing conditions for high dynamic range and standard dynamic range monitoring in close proximity within a single-master high dynamic range production environment | PSAA  |
| 64           | WP 6C   | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2100-2 – Image parameter values for high dynamic range television for use in production and international programme exchange  | PSAA  |
| 65           | WP 6C   | Draft revision of Report ITU-R BT.2408-7 – Guidance for operational practices in high dynamic range (HDR) television production   | 修正、承認 |

| 入力文書<br>(6/) | 提出元                       | 題 名   | 結果             |
|--------------|---------------------------|---|----------------|
| 66           | WP 6C                     | Draft new Question ITU-R [ADVSS]/6 and suppression of Questions ITU-R 135-2/6 and ITU-R 139-2/6 – Evolution of sound systems for broadcasting   | 採択             |
| 67           | Acting Chair,<br>WP 6C    | Executive Report of the meeting of Working Party 6C – Physical meeting with remote participation, 4 - 8 November 2024   | Noted          |
| 68           | WP 6A                     | Draft revision of Report ITU-R BT.2485-2 – Advanced network planning and transmission methods for enhancements of digital terrestrial television broadcasting   | 承認             |
| 69           | WP 6A                     | Draft new Report ITU-R BT.[COMPAT TMMB-L] – Compatibility between TMMB System-L and DTTB systems in the 470-694 MHz band within the GE06 agreement  | 承認             |
| 70           | WP 6A                     | Draft revision of Report ITU-R BT.2526-0 – Field trials of terrestrial multimedia mobile broadcasting systems   | 修正、承認          |
| 71           | WP 6A                     | Draft new Report ITU-R BT.[ITCN] – Inter-tower communications network (ITCN) for terrestrial broadcasting and datacasting systems   | 修正、承認          |
| 72           | WP 6A                     | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2016-3 – Error-correction, data framing, modulation and emission methods for terrestrial multimedia broadcasting for mobile reception using handheld receivers in VHF/UHF bands | 修正、PSAA        |
| 73           | WP 6A                     | Draft revision of Report ITU-R BT.2468-1 – Guidance for selection of system parameters and implementation of second generation DTTB systems   | 承認             |
| 74           | WP 6A                     | Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1774-2 – Use of satellite and terrestrial broadcast infrastructures for public warning, disaster mitigation and relief  | 修正、二段階の採択・承認手続 |
| 75           | Acting Chair,<br>WP 6A    | Executive Report of the meeting of Working Party 6A (5 - 13 November 2024)  | Noted          |
| 76           | WP 6B                     | Proposed Draft revision of Report ITU-R BS.2388-4 – Usage Guidelines for the Audio Definition Model and Multichannel Audio Files  | 修正、承認          |
| 77           | WP 6B                     | Proposed Draft revision of Report ITU-R BS.2493-0 – Practical implementation of broadcast systems using audio codecs for ITU advanced sound systems   | 承認             |
| 78           | Acting Chair,<br>WP 6B    | Executive Report of the meeting of Working Party 6B (Physical meeting with remote participation, 11 - 14 November 2024)   | Noted          |
| 79           | BR, Study<br>Groups Dept. | List of documents issued (Documents 6/42 – 6/79)  | —              |

(1) 前回会合からの持ち越し文書